

本年度の新たな取り組みとして
は、観光資源のネットワーク形成と
観光商品の開発、また、観光誘客を
促進するルートの設定を行うため、
観光ネットワークづくりモデル事業
と多言語観光情報発信支援事業を
実施します。

物産振興については、市産品の販
路拡大を図るため、引き続き県外に
おける物産展などを開催するととも
に、本市の豊かな農畜水産物を活用
した農商工連携や特産品の開発等を
推進します。

また、毎年多くの観光客が訪れる
世界遺産勝連城跡の周辺において
は、市産品などの物産販売による地
域活性化を図るとともに、観光客の
受入体制の強化に努め、観光サービ
スの充実に取り組みます。

うるま市観光物産協会は本市の観
光物産振興の要であることから、引
き続き運営を支援するとともに、連
携して施策を推進します。

労働行政については、主に情報通
信関連産業や観光、製造関連産業な
どを重点分野とした実践型地域雇用
創造事業に取り組みとともに、県の
「みんなでグッジョブ運動」と連携
した人材育成及び雇用機会の創出を
推進し、失業率の改善に努めます。

若年者の雇用対策としては、本年
度より新たに「うるま市地域若年者
人材育成事業」を実施し、若年者の

雇用及び就業機会を創出し、生活の
安定を図ります。

また、将来のうるま市の担い手と
なる児童生徒の勤労観・職業観の醸
成を図ることを目的に、市内中小学
校を対象にジョブシャドウイング事
業を実施します。

さらに、ハローワークと連携した
「うるま市地域職業相談室」を本庁
舎に引き続き開設し、市民の求職活
動を支援します。

高齢者の雇用については、うるま
市シルバー人材センターと連携し、
会員の就業機会の拡充に努めます。

中小企業の就業環境づくりについ
ては、中小企業勤労者の総合的福祉
事業を行う沖縄中部勤労者福祉サー
ビスセンター「ゆいワーク」と連携
し、福利厚生の上昇に努めます。

本市・金武町・宜野座村で構成し
ている金武湾開発推進連絡協議会
では、雇用対策、産業振興及び観光振
興を図るため広域連携を推進します。

第4 誰もが健康で、互いに助け合える 地域を育てます

地域福祉については、平成24年度
からスタートする「うるま市地域福
祉計画」の後期計画に基づき、うる
ま市社会福祉協議会や民生委員・児
童委員連絡協議会などの関係団体と
連携し、市民が住み慣れた地域で安
心して暮らせるまちづくりに取り組

みます。

障がい者福祉については、障がい
者が地域で安心して、共に暮らせる
社会の実現のため、「うるま市障が
い者福祉計画」に基づき、福祉サー
ビスや地域生活支援事業等に取り組
みます。

また、障害者自立支援法について
は、平成25年8月に「障害者総合福
祉法（仮称）」に変わる予定である
ことから、新制度を市民に周知し、
円滑な移行に努めます。

国民健康保険については、景気低
迷の中、滞納世帯の増加や医療費の
増大など国保を取り巻く環境は、一
段と厳しい状況にあります。被保
険者が安心して医療を受けられるよ
う関係機関と連携を図るとともに、
医療費の適正化、特定健診・特定保
健指導などの保健事業を推進します。

また、伸び続ける医療費を抑制す
るため、引き続きジェネリック医薬
品の普及・啓発に取り組みるとも
に、保険税の収納率向上対策を強化
し、国保の健全運営に努めます。

後期高齢者医療については、高齢
者の健康維持を図るため、健康診査
の受診促進に努めるほか、被保険者
の負担軽減を図るため、集団検診等
の無料化と人間ドック・脳ドック検
診費及び成人肺炎球菌ワクチンの接
種費用の一部助成を行います。

国民年金については、老後の生活

の支えとなることから、窓口相談や
広報活動などで年金制度の周知を図
るとともに、年金事務所と連携し、
市民の年金受給権の確保に努めます。

活保護については、適正な運営に
努めるとともに、昨今の長引く景気
低迷により、「働ける年齢層」の要
保護世帯が増加していることから、
要保護者の自立に向けて、就労支援
に取り組みます。

健康づくりについては、平成23年
度に見直しを行った「健康うるま21」
に基づき、乳幼児期から高齢期に至
るまで、母子保健事業、予防接種事
業、健康増進事業などを実施します。

成人保健については、各種健康診
査、健康相談、訪問指導などの保健
事業を実施し、生活習慣病の予防や
早期発見・早期治療に取り組みと
ともに、保健指導の充実に努めます。

母子保健については、すべての赤
ちゃんが元気に生まれ育つため、妊
婦健康診査の無料化を引き続き実施
するとともに、子どもの健やかな成
長を図るため、子育て支援と乳幼児
健康診査の充実に努めます。

感染症等の対策については、予防
接種の啓発及び周知に取り組みとと
もに、麻しん排除計画に基づき、麻
しん風しん混合ワクチン接種を実施
し、発症の防止に努めます。

また、子宮頸がん、ヒブ、小児用
肺炎球菌ワクチンの各予防接種、さ